

ビジネスの分野ではヒト、モノ、カネ、情報などを「経営資源」とみなして、その有効活用が会社を成長させるために大切だと考えられています。今回は、「情報」を市民活動に置き換えて解説します。

経営資源における「情報」とは、顧客情報や独自の技術・ノウハウやブランドイメージなど、会社の所有している「無形資産」のことです。お金やマンパワーに制限のある市民活動では、この「無形資産」をどう活かすかがとても大切になってきます。経営資源における「情報」を市民活動に置き換えると次の4つに整理できます。

①

専門知識・活動ノウハウ

自身の活動分野における専門的な知識です。福祉や子育てなどの分野の知識があれば、活動地域に対する知識も含まれます。また、ボランティア集めやイベント企画といったノウハウも立派な活動資源です。

②

人脈・ネットワーク

市民活動では「頼れる誰か」とのつながりが大切です。「この件なら地域のあの人に相談しよう」「この分野ならあの人に頼もう」といった、人脈の引き出しは多ければ多いほど活動が広がります。

③

実績

これまでの活動の経験や実績は、あなたの団体が頼りになるといふ何よりの証拠。ぜひ「見える化」しましょう。実績を元に、他の団体や、行政と一緒にプロジェクトに取り組めば、活動の幅はより広がります。

④

認知度

活動をはじめた頃の頃と、ある程度の認知度を得た後は活動のしやすさは大きく変わります。テレビや新聞などのマスメディアに取り上げられるように工夫したり、インターネット・SNS等を積極的に活用しましょう。

まとめ

この4つの要素が充実してくると団体への「信頼」が高まり、活動の幅が広がったり、社会的影響力も増していきます。この4要素のうち、自分たちの強みとなる要素は何なのか？足りない要素は何なのか？などを意識してみましょう。団体の組織力を伸ばすために必要な次の一手が見えてきますよ！

この団体ができること

私たち、「市民活動団体WA!!」は
国際交流のお手伝い
ができます！

外国人と日本人が互いを尊重しながら暮らす多文化共生社会の実現を目指す、高校生が設立した団体です。これまでに長岡在住の留学生たちとのイベント共催やコロナウイルスに負けないメッセージ動画の製作などを行いました。



協力してほしいこと

一緒にイベントのお手伝いをしてくれるボランティア(どの年代の方でも大歓迎！)

活用しよう！協働マッチングリスト

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります！



センターからのお知らせ

「協働マッチングリスト」
掲載希望団体募集中！

団体とのマッチングをサポート！

団体の力を役立てたい！

協力をしてくれる団体ないかな…？

〇〇に困っている

団体をPRしたい

協働センターに団体登録している市民活動団体の「協力できること」と「協力してほしいこと」をまとめた「協働マッチングリスト」の掲載希望団体を募集中！協働センターが、「協力したい」団体と「協力してほしい」団体のマッチングをサポートします。ぜひ、掲載をご検討ください！

＜協働マッチングリストをご覧になりたい方＞
左隣の記事のQRコードからご覧ください。

＜掲載を希望される方＞
掲載には、協働センターへの団体登録が必要です。詳細は、右記QRコードからご覧ください。



協働センター

Q&A

よく寄せられるご相談

Q. 団体の認知度を高めるために不可欠なことはありますか？

A. まず確認すべきはインターネットであなたの団体名を検索した時に、団体の情報が出てくるかどうかです。今は検索して出てこない情報は「怪しい…」と思われるがち。無料で使えるWEBサイトもあるので、団体の情報をインターネット上に載せましょう。

Q. 人脈・ネットワークの広げ方がわかりません。

A. まずはあなたの団体が、「何に困っていて、どんな人とつながりたいか」を明確にしましょう。つながりたい人がハッキリすれば、紹介を頼める先はたくさんあります。協働センターにご相談いただければ、然るべき団体や関係機関に紹介いたします。



Racotte vol.98

発行●ながおか市民協働センター

2021
2
FREE

今月のインタビュー

市民活動界のストライカー
日吉均子さん

活動地域
長岡



活動分野 | 地域づくり、子育て
団体での役割 | 代表
好きな食べ物 | 鱈寿司
弱点 | 虫が苦手

行動力で地域を引っ張るリーダー
関口和幸さん

活動地域
中之島



活動分野 | 地域づくり
団体での役割 | 委員長
特技 | ピザ作り
弱点 | 涙もろい

活動PickUp!

- プラン長岡近郊の会
- 越路門松同好会
- 黒条みんなの食堂
- 明治安田生命 長岡支社 長岡北営業部

市民活動・虎の巻

市民活動の活動資源『情報』編
～4つの「形のない資源」を意識しよう！～

この団体ができること

私たち、「市民活動団体WA!!」は
国際交流のお手伝いができます！

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
ながおか市民活動紹介番組 FMながおか 10分程度放送 第5月曜日を除く
80.7MHz

ながおかの市民協働のポータルサイト
コライト、見ないと!
協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。こらからのバックナンバーも閲覧できます。
https://nkyod.org
コライト

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

きんこ
日吉 均子さん(54歳)

中学校常勤講師/子どもみらい食堂、ままカフェPRO.

1967年富山県生まれ。ほんわかとした雰囲気からは想像できないほどの行動力の持ち主。子どもが大好きで、公私ともに子どもたちと関わっている。



●子どもみらい食堂で実施している学習支援の様子。たくさんの大学生が、ボランティアで子どもたちの勉強をみてくれています。



子どもたちにお母さんの愛と希望のある「みらい」を

子どもたちに接しているときの温かく愛にあふれた笑顔が印象的な日吉均子さん。学習支援や会食を通して多世代交流の場をつくる「子どもみらい食堂」と、スタッフが子どもを預かり、お母さんたちにリラックスできる時間を提供する「ままカフェPRO.」を主宰しています。その人柄は、夫の真実さん曰く「そこからじゃ入らないでしょ!?!」という場所からシュートを放つストライカー。その例えの通り、何もつながりのないところから活動の道筋を切り開いてきました。

日吉さんの市民活動のスタートは、子どもみらい食堂の立ち上げ。子どもだけではなく様々な人たちの居場所をつくるまでの道のりは一筋縄ではいかないものでした。「協力者の方とのつながりづくりや参加者の募集など、うまくいかない部分がたくさんあって。それでも、自分で開拓していくしかありませんでした。全国の子ども食堂ネットワークや学校の先生にご挨拶に伺ったり、企業の方や大学生に協力のお願いに伺ったりし

た」。日吉さんの熱意が伝わり、様々な人たちの協力を得て、部屋全体を使ったプラレールや科学実験などのイベントを開催。会食だけではなく、大人も子どもも楽しめるイベントが好評となり、市外からも参加者が来るようになりました。

「全ての人を支援できるわけではないけれど、一人でも多くの人に手を差し伸べていきたい」と走り続ける日吉さんが大切にしているのは、お母さん目線の支援です。「自分もそうだったから、弱さを抱えた子どもの気持ちがわかる。お母さんの目線で子どもたちに寄り添い、たくさんの楽しさや喜びを共有していきたいです」。これからも、2つの活動を通して子どもたちと親御さんの両方をサポートすることで、子どもたちが希望をもてる未来をつくりたいと話す日吉さん。日吉さんが放つシュートは、子どもたちの笑顔が輝く未来へ向かっていきます。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、現在子どもみらい食堂では、会食やイベントの開催を休止し、お弁当の配布を行っています。

活動の根っこ

おかあさん
日吉均子

人のつながりを大切に みんなでつくる活動で地域に希望の光を灯す!

「実家が建築業をやっていたことで、子どもの頃から家に人が出入りするの当たり前でした」と、人とのつながりが日常的だった関口和幸さん。地域と関わり始めたのは2004年新潟・福島豪雨の7.13水害でのボランティアでした。「自宅も被災した中、地域の人々が片づけを手伝ってくれた。地域の人々の温かさを感じました」。

水害の復旧が進む中、特に感じたのが落ち込んでいる子どもが多かったこと。そこで関口さんは水害時、除去に苦しんだ「泥」を楽しむ「どろんこ祭り」を開催しました。「子どもたちの笑顔を見ると、辛い経験を楽しみ経験へ塗り替えることができたと思いました」。

2019年から中之島地域ふるさと創生基金実行委員会の委員長となり、若者定住事業を引き継ぎました。まずは中之島に住む若者が集まり、一緒にイベントを企画するテーマ別の交流会を実施。親睦を深めた後のワークショップでは活発な意見交換ができた

そうです。「私も知らなかった地域の魅力や中之島をよくするアイデアを多く集めることができました」。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で予定はすべて白紙に。そんな中でも希望の光を灯したいと、2020年10月にライトアップ事業を実施しました。みんなでイベントを作るため、参加者が自分のやりたい役割を選び、会場の準備から点灯までを一日で終わらせるスケジュールを組んだそうです。「点灯した瞬間の子どもたちのきらきらした笑顔や大人の充実した表情を見ると、少しは希望の光になれたのかなと思いました」。

今後の目標は新たな灯を絶やさないように若者の地域参加を促すこと。「今いる子どもたちが地元を愛せるように、親にも地域を愛してほしい。そのためにみんなで地域の魅力を再発見し、多くの人から地域に関わってもらいたいです」。関口さんの人のつながりを大切にする活動で、地域の輪が広がっていきよう。

関口 和幸さん(45歳)

自営業/中之島ふるさと創生基金事業実行委員会



1975年長岡市中之島生まれ。中之島ふるさと創生基金実行委員会のほか、中之島夏まつり実行委員会など各方面で活躍している。



●イルミネーションで中之島を明るくする「なかのん笑顔プロジェクト」を実施。子どもから大人までみんなが笑顔になりました。

活動の根っこ
笑顔が一番
関口和幸



活動PickUp!

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します



プラン長岡近郊の会

世界の女の子の笑顔のために

長岡



貧困、飢餓、災害、紛争などで困難な状況にある途上国を支援する国際NGO「プラン・インターナショナル・ジャパン」の活動に賛同する長岡近郊に住む人たちが、情報交換や勉強会を目的に1991年に発足した会です。毎月の支援金寄付の他、支援国の子どもたちとの文通や現地視察などからも、活動の意義を感じています。特に女の子の人権が守られ、自立できる環境を整えるために支援を続けています。

黒条みんなの食堂

人と人とのつながりが育まれるみんなの食堂

長岡



黒条みんなの食堂は、食を通してコミュニティの再生を図ってこうと、月に1回公民館に集まって調理・配食をしています。活動のきっかけは、「災害や緊急事態に備えて、地域のネットワークや防災対応力の強化が必要である」と感じたこと。これからも、人と人とのつながりを大切にしながら、地域の宝である子どもたちにみんなで一緒においしいごはんを食べる経験を提供し、未来へとつなげていきたいと思っています。

越路門松同好会

伝統を守り感謝の気持ちと共に贈る

越路



歳初めを彩る門松を40年に渡り製作する越路門松同好会。門松の歴史や郷土史などを研究し、古来の製作方法にこだわって作っています。材料もすべて自分たちで調達し、今では年末に100個を超える大小様々な門松を製作。お世話になった方々に無償で配布しています。やりがいは、とにかく自分たちが楽しむこと、贈る方々の笑顔です。今後は伝統を継承するために、興味のある方に作り方を教えていきたいです。

明治安田生命 長岡支社 長岡北営業部

食材を集め地元の元気を応援します

長岡



私たちは全社をあげて「地元の元気プロジェクト」と銘打ち、地域性に合わせた社会貢献活動を行っています。長岡北営業部では職員から活動のアイデアを募り、5年前よりフードバンク長岡センターに食材提供をスタート。フードバンク様より活動内容を朝礼で話していただくことで、職員が活動の意義に共感し取り組んでいます。身近な食べ物を集め、幸せを結ぶ活動を今後も続けていきたいです。

みんなの声

投稿テーマ 「長岡みんなのSDGs」

投稿
随時募集中



2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の目標"SDGs"に関する投稿を掲載しています。

SDGsに関する詳細は、2020年から2022年4月号の「虎の巻」をご覧ください。

投稿方法

投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。



投稿者
コローさん

日清カップヌードルに、葉っぱのイラストに[RSPQ]と書かれたマークを見つけました。調べてみると、森林破壊防止および生物多様性保全、人権に配慮されて生産、加工された「RSPQ認証パーム油」の調達を推進している印でした。買った物は投票とも言いますので、こういう印がある商品意識して選んでいきたいですね!